

令和3(2021)年度

理工系分野における女性活躍促進調査
報告書

令和4(2022)年1月

栃木県

(受託者:株式会社あしぎん総合研究所)

はじめに

本県を取り巻く社会・経済環境は、人口減少・少子高齢化の進行やデジタル社会の進展などにより、大きな変革期を迎えています。

これらの変化に対して、国内でも有数の「ものづくり県」である本県がさらに技術開発力を高め、課題を解決しながら持続的に発展できるようにするためには、女性の視点や発想も取り入れた多様な研究・技術開発を進めていくことが大変重要です。

しかしながら、科学技術に係る研究者に占める女性の割合（全国）は低く^{※1}、また、次代を担う人材となることを期待されている理工系大学の学部へ進学する女子生徒数は、男子生徒と比べて低い水準に留まっています^{※2}。本県の「ものづくり県」としての強みを活かすためには、女性の研究者・技術者の増加を図るとともに、その能力を発揮することのできる環境づくりが重要です。

これらのことから、進学・就職・企業活動の各段階において女性の十分な能力発揮を阻む要因等を明らかにし、理工系分野における女性活躍に向けて、具体的かつ効果的な施策を検討するための基礎資料を得ることを目的に、県として初めて本調査を実施しました。本調査結果をもとに、理工系分野における女性活躍のための取組を推進して参りますので、引き続き御理解・御協力くださるようお願い申し上げます。

最後となりましたが、実施に当たっては、各企業、大学、女性団体、県教育委員会、高等学校、庁内関係各部から様々な御助言及び多大なる御協力をいただきました。また、受託した株式会社あしぎん総合研究所には意欲的に業務を遂行していただきました。さらに、理工系企業の最前線で長年御活躍された行木陽子氏にも示唆に富んだ御提言をいただきました。ここに改めて、本調査に御協力いただいた皆様に深く感謝を申し上げ、調査報告書の巻頭言とします。

令和4（2022）年1月

栃木県県民生活部長 千金楽 宏

※1 日本の研究者に占める女性の割合（出典：総務省「科学技術研究調査（令和2年）」17.2%

※2 大学・短期大学等の学部別進学者数（出典：栃木県教育委員会 令和3（2021）年度県立高等学校等卒業者の進路状況調査報告書）

理学（数学、物理学等）進学者：女子64人、男子112人

工学（土木建築工学、応用化学等）進学者：女子200人、男子907人

目 次

I 調査概要

1 調査目的	1
2 調査方法	1
3 報告書を見る際の注意事項	2

II 高校生の理系分野への進学・就職に関する意識調査

1 調査対象	3
2 調査方法	3
3 報告書を見る際の注意事項	3
4 調査結果	4
設問 1 あなたの性別と学科を教えてください。	4
設問 2 これまでに、進路選択について、大人から、「男子だから」、「女子だから」というように、性別を理由にした進路選択の推奨やアドバイスを受けたことはありますか。	5
設問 3 あなたは、理系と文系のどちらに近いと思いますか。	6
設問 4 (1) あなたは、理系の仕事についてどう思いますか	7
設問 4 (2) “理系の仕事は男性と女性のどちらに向いていると思うか”〔設問 4 (1)〕を回答する上で影響を受けた人や物事は何ですか。	10
設問 5 (1) 進学をする地域について、どのような希望がありますか。	14
設問 5 (2) 就職をする地域について、どのような希望がありますか。	17
設問 6 就職先の希望地域として“東京圏”を希望する理由は何ですか。	20
設問 7 (1) 現在、どのような進路を希望していますか。	22
設問 7 (2) 保護者は、理系の進路を選択することについて、理解を示していますか。	25
設問 8 理系の進路選択に対し、保護者が理解を示していないのは、どのような理由からだと思いますか。	26
設問 9 最終的にどの学校まで進学したいですか。	27
設問 10 (1) 問 7 (1) の進路を希望するようになった時期はいつからですか。 ..	29
設問 10 (2) 問 7 (1) の進路を希望するのはどのような理由からですか。	30
設問 11 (1) これから就職や進学をするにあたって、心配なことはありますか。 ..	32
設問 11 (2) 心配事はどのような事ですか。	35
設問 12 理系の進路を選択する女子を増やすためには、どのようなことをすると効果があると思いますか。	37

Ⅲ 理工系企業における女性活躍推進実態調査

1 調査対象	45
2 調査方法	45
3 回答企業属性	45
4 報告書を見る際の注意事項	47
5 調査結果	48
設問 2 採用活動について	48
設問 2 (1) 大学等への新卒採用募集活動	48
設問 2 (2) 令和 2 (2020) 年度の採用人数	52
設問 2 (3) 大学のキャリアセンターや高校の就職指導担当者との結びつき	53
設問 2 (4) インターンシップ制度の導入状況・導入時期	54
設問 2 (5) インターンシップ制度で受け入れた学生・生徒の採用状況	55
設問 2 (6) インターンシップ制度を導入していない理由	56
設問 3 大学等との共同研究の実施状況	57
設問 4 各企業の「研究・技術開発部門」に従事する社員の現状	58
設問 4 (1) 研究・技術開発部門の有無	58
設問 4 (2) 研究・技術開発部門で技術者として従事する従業員の雇用形態別人数 及び年齢構成	59
設問 4 (3) 研究・技術開発部門で技術者として従事する正社員の平均役職別人数、 平均年齢、平均勤続年数	61
設問 5 (1) 研究・技術開発部門の技術者の採用方法	63
設問 5 (2) 研究・技術開発部門の技術者の採用に関する裁量権限	64
設問 5 (3) 採用に関する裁量の内容	64
設問 5 (4) 研究・技術開発部門における女性の採用・登用に関する数値目標の有 無	65
設問 5 (5) 研究・技術開発部門に従事する女性の採用拡大予定	65
設問 6 令和 2 (2020) 年度の研究・技術開発部門の採用実績	66
設問 7 経営課題としての女性活躍推進に対する認識	67
設問 8 女性活躍推進に向けた取組の状況	68
設問 9 女性社員の動向・意識等	69
設問 9 (1) 結婚・出産に伴う女性社員の離職状況	69
設問 9 (2) 産後休暇や育児休業から復帰した社員の勤務環境に関する希望	70
設問 9 (3) 育児休業から復帰した女性社員のキャリア意識	71
設問 9 (4) 女性活躍推進に資する制度の導入年・利用状況	72
設問 10 研究・技術開発部門に従事する女性社員の状況	75
設問 10 (1) 研究・技術開発部門に従事する女性社員の能力発揮について	75

設問 10 (2) 研究・技術開発部門に従事する女性社員が能力を発揮していると回答した判断理由	76
設問 10 (3) 研究・技術開発部門に従事する女性社員が能力を発揮していないと回答した判断理由	77
設問 10 (4) 研究・技術開発部門に従事する女性社員のキャリア形成を支援するための取組	78
設問 10 (5) 特に育成したい研究・技術開発職の女性人材	80
設問 11 ロールモデルの育成に向けた取組	81
設問 12 理工系分野で活躍する女性を増やすために効果があると思う中学・高校・大学生への取組	82
設問 13 研究・技術開発職の女性人材活用や女性の能力発揮を促進するために県に要望する施策	84

IV 大学生等ヒアリング調査

1 調査対象	85
2 調査方法	85
3 ヒアリング項目	85
4 調査結果	86
(1) 理系大学への進路を選択した経緯、現在学んでいる内容	86
問 1 理工系の進路を選択した理由・きっかけ	86
問 2 進路選択に当たって影響を受けた人や物事	87
問 3 在学中の大学を選んだ理由	88
問 4 大学で学んでいる内容	90
(2) 就職についての考え方・就職活動の状況	91
問 5 やってみたい仕事やなりたい職業	91
問 6 就職活動について	92
(3) 仕事やキャリア形成に対する意識	95
問 7 結婚・出産後の仕事の継続について	95
問 8 キャリアアップへの興味	96
(4) 理系への進路選択を目指す生徒・学生を増やすために必要と思うこと	96
問 9 理系への進路選択を目指す生徒・学生を増やすために必要と思うこと	96

V 理工系企業ヒアリング調査

1 調査対象	99
2 調査方法	99
3 ヒアリング項目	99

4 調査結果	101
【企業代表者（人事担当者）】	101
(1) 女性社員の担当業務及び採用について	101
問1 女性社員（正社員）の担当業務	101
問2 女性社員（正社員）の採用状況（採用方法や最終卒業学校・出身地など） ..	102
問3 女性からの応募状況	103
問4 女性社員の採用に対する会社の方針・考え方	103
問5 地元の大学や高校との結びつきについて	104
問6 インターンシップの実施状況	105
(2) 女性社員のキャリア形成について	106
問7 女性の管理職登用やキャリアアップに対する意識	106
問8 女性活躍支援に関する県への要望	107
【女性社員】	108
問1 理工系企業への就職を選んだ理由	108
問2 担当業務	108
問3 職業生活で苦労した事	109
問4 キャリアアップに対する考え	109
問5 女性の能力発揮に向けた県や企業への要望	110
VI 理工系分野における女性活躍の推進に向けて（有識者提言）	111
VII 資料	
資料1 高校生の理系分野への進学・就職に関する意識調査 調査票	119
資料2 高校生の理系分野への進学・就職に関する意識調査集計表	131
資料3 理工系企業における女性活躍推進実態調査 調査票	159
資料4 理工系企業における女性活躍推進実態調査集計表	171

